第 99 号　令和 5 年 8 月 22 日

世田谷たすけあいネット ニュース

発行責任者 ： 世田谷たすけあいネット 代表 駒澤 重光

世田谷たすけあいネットは人の応援が欲しい時、「手をかして」と気軽に言える、「あったかな地域」つくりをめざしています。平成１６年５月開始以来、高齢者の暮らしの困り事や悩みを解決すべく「無料で電話相談」にお答えし、情報の提供や出張サポートを行っています。

暑中お見舞い申し上げます

今年も記録的な猛暑続きで、”朝晩涼しくなり・・・”ということばが待ち遠しいところです。コロナ禍も５類移行後、あまり騒がれませんがある専門家は「検査件数が減っているので表面には出ないが第９波が始まっている」、と指摘しております。私たちも油断することなく気を緩めず過ごしたいものです。
今回は、喜多見あんしんすこやかセンターを訪問しましたので訪問記をご一読ください。
９月１２日（火）はボランティア研修を予定しております。
今年は「住まいあんしん訪問サービスを担当する新規ボランティア募集」を取りやめ、登録しているボランティア皆さんを対象に、交流とボランティアとしての振り返りをテーマとします。多くの皆さんのご参加をお待ちしております。

世田谷 あんすこ訪問記

第 20 回　喜多見あんしんすこやかセンター

訪問者　藤澤恒生

お盆前の猛暑日のなか、喜多見あんしんすこやかセンターを訪問し、ご多忙中のところ管理者の浜山様が快く対応して下さり、高齢者の暮らしや介護の相談などについての話をお聞きすることができました。
先ず、当方からコロナ後の活動などについて、なかなかコロナ前の状況には至っていないが少しずつ戻しつつあることをお伝えしました。
浜山様からは、喜多見あんすこは職員８名で喜多見・宇奈根・鎌田地区を担当して、約６千人の高齢者の相談事に応え支援していること、現在月あたり約６００件～７００件の相談に応じていること、ちなみに昨年の相談件数は約７５００件だったとのお話がありました。
コロナ禍のなかでも利用者へのサービスが低下しないよう、社会福祉協議会やシルバー人材センター、民間の有料老人ホームなどと連携していろいろな活動に取り組んでいるそうです。
日常の活動としては、通常業務のほか、エリア条件で買い物に不自由する高齢者が多いのでまちづくりセンターや社協とともに「移動販売」や、ＪＡに協力してもらい定期的に「買い物ツアー」を行っています。他にも地区の自治会と共催で地域住民同士の交流を目的として「だんだんの会」をたちあげ、その一環として夏休みは児童館にて「おじいさんおばあさんと子供たちと一緒になってボッチャで遊ぼう」を開催しているとのことです。
また、介護する人の悩みや不安などを一緒に話し合う会として、高齢者を介護する家族の会「喜多見介護者の会」を偶数月（８月は休会）に開催しており、介護者から喜ばれているとのことです。
喜多見あんしんすこやかセンターは担当エリアが喜多見から鎌田まで、野川に沿って約５ｋｍと細長いエリアであり、職員の皆さんが出向く時や高齢者の日頃の買い物など大変ご苦労されておられる中、いろいろな企画を実施して利用者の皆さんに感謝されている様子がよくうかがえました。
最後に、たすけあいネットは早くコロナ前にもどし利用者の皆さんのご要望にお応えできるようすすめたいので引き続きご指導ご支援をお願いしたい、とお伝えして訪問を終えました。

●電話相談日：毎週火曜日　（火曜以外は取り次ぎ）　Tel　03－6413－1506　Fax　03－6413－1556

●次回ボランティアミーティング　　9 月 26 日　第 4（火）13：00～14：30　梅丘地区会館２F